

# 道路の中期計画（東北地方版）

東北地方幹線道路協議会

〔青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県  
仙台市、東日本高速道路株式会社、東北地方整備局〕

# 目 次

	Page
はじめに	1
1. 東北地方の現状と課題	3
(1) 自然・地理的特徴	3
(2) 社会的特徴	4
(3) 産業・経済活動における課題（活力）	5
(4) 自然災害（地震、土砂災害、雪害、水害等） 克服に向けた課題（安全）	6
(5) 身近な暮らしの質向上に向けた課題（暮らし）	7
(6) 豊かな自然環境の保全に向けた課題（環境）	8
(7) 社会資本ストックにおける課題	8
2. 今後の道路整備・管理についての意見・提案	9
(1) 東北のみちを考える懇談会からの提言	9
(2) 東北地方の各県・市町村から頂いた ご意見・ご提案	10
3. 東北地方の目指すべき将来像	13
(1) 東北地方の将来像	13
(2) 東北地方の道路整備・管理のあり方	14
4. 東北地方の道路整備・管理の基本方針	16
(1) 基本的な考え方	16
(2) 選択と集中の基本的な方向性	16
(3) 道路整備・管理の基本方針、方向性	18
5. 目標宣言	32
6. 主な代表事例	44
(別冊)	
1. 代表事例	
2. 主要事業箇所一覧	

## はじめに

戦後半世紀に渡る道路整備は、東北地方における経済や生活面において多大な貢献を果たしてきました。特に、全国的な自動車交通網を形成する高規格幹線道路や一般国道などの幹線道路網は、東北地方における産業立地の進展、物流や地域間の交流、危機管理等の面で大きな効果をもたらし、また、身近な生活道路でも、通学路などの歩行空間の確保を始め、地域の人々の安心・安全な暮らしの実現に大きく寄与してきました。

このような中、「道路特定財源に関する基本方針」が平成20年5月13日に閣議決定、平成21年4月22日には、「道路特定財源を一般財源化する法律」が国会で可決され、昭和29年以来55年間続いてきた道路整備のための財源制度が廃止されるなど、道路を取りまく情勢は大きな転換期を迎えました。

一方、経済のグローバル化の進展、世界的不況、人口減少社会の到来など、国内外の経済情勢が大きく変化してきており、東北地方においても、経済活動が低迷する中、農林水産業や自動車関連産業、観光などにおける産業の競争力・成長力の向上、安定した雇用の確保、地域の活性化などが求められています。

しかしながら、「全国に比べ1.4倍と長い都市間距離の克服」、「奥羽山脈などの脊梁山脈、峠、豪雪の克服」、「地震・豪雪・豪雨といった自然災害への対応」、「全国を上回る少子高齢化・人口減少への対応」などの東北地方が有する課題に対応し、国際経済競争力の強化や、便利で豊かに安心して暮らすための道路整備はいまだに不十分な状況となっています。

平成20年12月24日にとりまとめられた「新たな中期計画」では、地方版の計画策定が位置づけられるとともに、平成21年3月31日に閣議決定された「社会資本整備重点計画」に一体化されたところです。

このような背景をもとに、東北地方の地域特性、平成19年1月に頂いた「東北の今後の道路政策のあり方―提言―」、平成20年9月に頂いた各県・市町村のご意見やご助言等を頂き、東北地方の今後の道路整備・管理の方向性を示すために、「道路の中期計画(東北地方版)」を策定したものです。

本計画の内容は、「東北圏広域地方計画」と車の両輪として機能する「東北ブロックの社会資本の重点整備方針」に反映しています。また、今後の「道路行政マネジメント」に反映して参ります。

平成21年 8月 4日  
東北地方幹線道路協議会

